

～ ヤマケイ通信 ～

いつもお世話になり、誠にありがとうございます。

6月、今年も早くも半年が過ぎましたね。月日が経つのは本当に早いです。

各地で梅雨入りが発表され、ジメジメと蒸し暑い日々が続いております。

今の時期、体はまだ暑さに慣れていないので、くれぐれも熱中症、体調管理にお気をつけください。

今月号は「今年の夏の気候」についてお知らせいたします (^_^)



今年の夏は猛暑になる!?

昨年 2018 年の夏は非常に暑かったのが記憶に新しいと思います。

埼玉県熊谷市では日本歴代最高気温 41.1℃を記録し、全国的に記録的な猛暑でした。

今年の夏はどうなるのか不安が募りますが・・・ (^_^)

昨年は全国各地で気温が 40℃前後まで上がり、また 8 月も猛暑日が続き、連日猛烈な暑さでしたね (+o+)

服装で体温調整ができる限界を超えていて、外にいるだけで熱中症になるような危険な猛暑でした。

総務省消防庁発表の昨年 6 月～9 月までの熱中症による救急搬送者数が、全国で 92,600 人と 2010 年以降最多にもなりました。熱中症対策関連の商品なども飛ぶように売られていましたが、今年の夏はどうなるのでしょうか、確認しておきましょう。



2019 年夏はエルニーニョ現象が大きく影響

気象庁が発表している今年 6 月～8 月の平均気温の予想を確認してみると、全国的に「ほぼ平年並み」になるとされています。

その理由として太平洋高気圧の勢力が弱く、平年に比べると晴れの日が少ないと言われています。

太平洋高気圧の勢力が弱くなるのは、現在発生している「エルニーニョ現象」が影響しています。

エルニーニョ現象とは、東太平洋の赤道付近ペルーとエクアドルの沖合から西太平洋のほぼ中心部まで数千キロメートルに及ぶ海域において、海面の水温が局所的に異常上昇する現象で、数ヶ月から一年以上の持続期間を持つ地球規模での自然現象の総称です。

エルニーニョ現象が発生すると、世界各地の気候も連動して変化し、日本の場合は冷夏・多雨・暖冬になりやすいとされています。夏は冷夏の方が過ごしやすいと思いがちですが、冷夏の影響で農作物に深刻な被害が発生し、生活に支障がでることもあります。

猛暑であっても冷夏であっても何かしら生活に支障が出てくることを考えると、平年並みが良いのかもしれないですね (^.^)

ご購入ありがとうございました。次回号をお楽しみに(^o^)



有限会社 山本圭商店



各種包装機用超硬カッター、セラミック加工、テフロン加工、各種表面処理加工、包装資材全般販売
〒537-0012 大阪市東成区大今里 3-11-24 TEL 06-6971-1347 FAX 06-6971-2201 www.tyoukou.jp